

市の助言内容と申出者の意見

市の助言		申出者の意見
1 空間計画について		
(1)	展望ラウンジは、上下の連続性を持たせる動線計画や吹き抜けの位置の工夫、溜まり空間の適切な配置などにより、空間の一体性を持たせるとともに上下の移動時とラウンジでの滞在時で異なる表情の時計台を楽しめる空間となるよう、引き続き検証の精度を高めていただくことを期待します。	1～2階の時計台広場において上下階のつながりを感じられる吹き抜けの位置を展望ラウンジ・時計台広場に近づけることで、貫通通路からも視認できるようなプランの検討を行います。また、エスカレーターから吹き抜け周囲に至る動線も含めて回遊性を確保しつつ、展望ラウンジは時計台を眺望する滞在スペースとして計画します。
(2)	地下1階大通側の広場空間の設えについて、より効果的な吹き抜け位置や見え方、光の落とし方などの検証により、開放感のある居心地の良い空間づくりを丁寧に検討されることを期待します。	外部からの採光を考慮して、吹き抜け位置をエスカレーター上部にしていきます。また、地下街から地上に至る階段の壁の透過性を高めて解放感を確保するとともに、内装の仕上げには暖色系の素材や柔らかみのある自然素材を用いる検討を行うことで、居心地の良い空間を目指していきます。
(3)	内外のサイン計画にあたっては、サインの空間に与える影響を踏まえ、デジタルサイネージを含めたその活用方法について慎重に検討してください。	建物や広場を有効に活用できるようなサインのデザインや配置を検討するとともに、デジタルサイネージの活用については位置等も含めて慎重に検討を行います。
2 植栽計画について		
	外構の植栽は、単調にならないよう適切な樹種を選定するとともに、品種の違いによる葉や花の色の違いなども活用しながら、例えば「時計台周辺地区」の中心を通る市道西3丁目線にストーリー性を持たせるなど、大通側と時計台側をつなぐ賑わいの演出がなされるよう努めてください。	外構の植栽は、大通側と時計台側をつなぐ賑わいの演出に寄与し、単調にならないよう樹種を選定していきます。
3 内外装計画について		
(1)	低層と高層のデザインの切り替え部分について、植栽を活用することなどにより、3階機械室が閉鎖的な印象とならないような工夫を検討してください。	3階設備バルコニーは低層階からの賑わいの連続に寄与するように、暖色系の色味・素材の採用やルーバー壁面の小分割化、植栽や効果的な照明の配置の検討等を行います。
(2)	南側高層部と北側高層部の間や外壁塗装部分について、裏側の印象が強くないよう、素材や色彩、テクスチャーなどについてさらに検討を深められることを期待します。	南側高層部と北側高層部の間や外壁塗装部分については、バックエリアのように単調な壁面にならないように仕上げの素材や形状等の検討を行います。

(3)	広場や貫通通路の設えについて、視線や身体からの距離が近い部分の素材感は特に印象が強くなることから、距離感や空間全体としての調和を考慮しながら、自然を感じられる素材選定に努めてください。	広場や貫通通路の設えについては、建物全体の調和を考慮して、暖色系の素材や柔らかみのある自然素材を用いる検討を行います。
-----	--	---